

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科					
科目名称	情報社会学						授業形態	講義		
科目コード	531817	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員		Active・L	○	
担当教員名	呉 海鍾							ICT活用	○	
授業概要	授業では、情報社会学の基本的な考え方や概念に焦点を当て、情報通信技術（ICT）の発展・普及が社会や人の生活に与える影響、情報倫理、そして情報通信技術の歴史から将来への展望までについて、理解と考察力を育成することが目的とされている。学生は情報社会の構成と発展、その歴史や背景について学ぶ。さらに、情報通信技術が社会に与える影響やその進化に伴う課題についても探求し、日本の具体的な事例を通じて、情報技術が社会問題に及ぼす影響や倫理的な側面について議論する。この授業では、ソーシャルメディアやデジタルアイデンティティ、持続可能性などのテーマを通じて、情報社会の未来についても考察していく。									
関連する科目	社会学、統計学、現代社会学、情報処理学Ⅰ、グローバリゼーションと労働									
授業の方法と進め方	本授業は、講義とアクティブラーニングを組み合わせた全15回の構成であり、講義形式とグループディスカッション（GD）を組み合わせる。講義では基本的な概念や理論を解説し、GDでは学生同士の議論を通じて理解を深める。また、映像資料や事例分析を活用し、学生が自主的に学習を進められるようサポートする。ICTを活用した学習支援として、オンラインプラットフォームを活用した資料配布、課題提出、ディスカッションの促進を行う。授業内では、デジタルツールを活用したリアルタイムアンケートや共同編集ツールを用い、学生の意見を可視化しながら議論を進める。また、一部の授業ではオンデマンド教材を取り入れ、学生が復習や事前学習を柔軟に行える環境を整える。学生には、毎回の授業終了後に課題レポートや小テストの提出を求め、学習の定着を図るとともに、適切なフィードバックを行う。さらに、学期末には最終課題レポートやプレゼンテーションを通じて、学生の学習成果を総合的に評価する。									
第1回	授業概要と情報社会学の基本概念の紹介：（※GD：グループディスカッション） ・授業では情報社会学の基本的な概念について導入し、情報社会の特徴や重要性について解説する。									
第2回	情報社会の概念と歴史： ・情報社会の概念や歴史について詳細に掘り下げ、情報社会がどのように形成されてきたかを学ぶ。 ・主要な概念や技術の発展に焦点を当て、その社会的影響を議論する。 ・その結果をミニレポートにまとめる。									
第3回	情報通信技術（ICT）の進化と社会への影響： ・ICTの進化と日本における社会への影響について探求する。 ・具体的な事例を通じて、ICTが社会や経済に与える影響を分析し、議論する。 ・その結果をミニレポートにまとめる。									
第4回	GD①：社会問題への情報通信技術の寄与と課題： ・グループディスカッションを通じて、情報通信技術が社会問題の解決にどのように貢献してきたかや、課題となっている点について議論する。 ・（※GD：グループディスカッション）を行い、KJ法を用いてまとめたミニレポートを作成する。									
第5回	情報倫理とプライバシー保護： ・情報倫理とプライバシー保護に関する基礎的な概念や現代の課題について学び、情報化社会における倫理的な問題やプライバシーの重要性について考察する。 ・その結果を小テストで評価する。									
第6回	ソーシャルメディアとデジタルアイデンティティ： ・ソーシャルメディアの特徴や影響、デジタルアイデンティティの概念について解説し、個人がオンライン上でのアイデンティティを形成する過程やその影響について議論する。 ・文献調査を行い、その結果をミニレポートにまとめる。									
第7回	GD②：デジタルプライバシーと個人情報保護法の適用性： ・デジタルプライバシーと個人情報保護法の適用に関する実践的な問題や課題について考察し、解決策を模索する。 ・（※GD：グループディスカッション）を行い、KJ法を用いてまとめたミニレポートを作成する。									
第8回	デジタル技術と持続可能性: SDGsの視点からの考察： ・デジタル技術が持続可能な社会の実現にどのように貢献できるかに焦点を当て、SDGsの視点からデジタル技術と持続可能性の関連性について考察する。 ・その結果をミニレポートにまとめる。									
第9回	地域コミュニティのデジタル化とオンライン活動の影響： ・地域コミュニティのデジタル化がもたらす影響やオンライン活動の特徴について学び、地域社会におけるデジタル技術の役割や課題について考察する。 ・KJ法を用いてまとめたミニレポートを作成する。									

第10回	地域コミュニティと情報社会の未来：映画『フラガール』を通じた洞察： ・映画の内容を通じて、地域社会の変化や課題について議論し、その結果をミニレポートにまとめる。
第11回	地域コミュニティと情報社会の未来：映画『フラガール』を通じた洞察： ・映画『フラガール』を通じて地域コミュニティと情報社会の未来について考察を深める。 ・その結果をミニレポートにまとめる。
第12回	高度情報社会の影響：社会問題と知的財産・倫理： ・高度情報社会における社会問題や知的財産、倫理について学び、情報化がもたらす社会的影響に関する議論を行う。 ・その結果を小テストで評価する。
第13回	GD③：ソーシャルメディアが個人のデジタルアイデンティティに及ぼす影響： ・グループディスカッションを通じて、ソーシャルメディアが個人のデジタルアイデンティティに与える影響や課題について議論する。 ・その結果をミニレポートにまとめる。
第14回	最終課題発表会①： ・学習した内容を元に、最終課題の準備を行い、学生が自身の課題を発表する。
第15回	最終課題発表会②と総括： 最終課題の発表を完了し、全体の学習成果を総括する。
授業の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会の基本的概念や歴史について理解する。 ・情報通信技術（ICT）が社会に与える影響や課題を議論できる能力を身につける。 ・情報倫理やプライバシー保護に関する基礎的な知識を理解する。 ・ソーシャルメディアやデジタルアイデンティティについての理解を深める。 ・地域コミュニティのデジタル化と情報社会の未来について考察できる能力を養う。 <p>《到達目標：学士力》において、知識・理解の観点では、情報社会の基本概念やICTの影響に関する知識を習得し、情報倫理やプライバシー保護について理解を深める。また、汎用的技能の側面では、地域のデジタル化と情報社会の未来について考察し、情報技術の有効活用と創造的展望を育成する。</p>
学修成果との関連	3.現代社会に関する基本的知識を有する。
授業時間外学習【予習】	毎回の授業前に、授業内容や関連する参考書や資料を読解し、その後授業に臨む。（約1時間）
授業時間外学【復習】	毎回の授業後に、授業内容やグループディスカッションの内容を振り返り、理解を深める。（約30分）
課題に対するフィードバック	各課題に関するフィードバックは、授業ごとに適宜行います。これにより、学生の積極度や理解度が促進される。
評価方法・基準	授業内での積極的な学習態度（例：グループディスカッション（GD）への参加度）、また授業中の小テストや課題の提出状況を含めて、50%を占める。さらに、学期末の最終課題の提出と発表なども50%で総合的に評価される。
テキスト	本授業は、テキストを使用せず、適宜関係資料の配布、スライド、ビデオなどを使用しながら進めていく。
参考書	適宜授業で紹介する。
備考	